

特色

*大分県教育委員会・教育学部と連携した学校経営

I 生活指導を基盤にした安心・安全の学校経営

II 主幹教諭・指導教諭を中心とする主任制度を活用した組織的な学校経営

III 学校運営組織や研究における連携

IV スクラップ&ビルドによる業務の精選・重点化

*グローバル人材の育成を目指した重点方針

魅力のある、特色のある、公立学校へも展開できる先導的な取組

I 生活指導を基盤にした安心・安全の学校経営

- ・「あいさつ、掃除、トイレのスリッパそろえ」の三つに絞り、生活指導を徹底。運営委員会でチェックし、短期のPDCAを回していく。
- ・「聴く」ことに焦点化したフリートークで、安心して話せる集団作り。
- ・「褒め言葉のシャワー・成長ノート」で自己肯定感の高い集団作り。

- ・先手挨拶やワンストップ挨拶・相手の名前を言っでの挨拶が増え、明るい雰囲気になった。
- ・フリートークに対する教師の価値付けによって、安心して話すには聴く雰囲気作りが重要なことが分かり、友だちの話を聴く雰囲気作りができた。
- ・「褒め言葉のシャワー・成長ノート」によって、自分のよいところの発見や確認ができた。



おはよう
ございます。



しっかり磨くぞ。



今日はそろっ
ているかな。

次の人のこと
を考えて。



主幹教諭・指導教諭・各主任を活用した組織的な学校経営体制の実践

2 授業改善

教育課程大分県研究協議会の研究課題解決を本校の研究課題とし、各教科等における実践に指導・助言を受ける。

授業観察シートの開発・義務教育課との情報交換

3 小中連携のモデル

附属中学校と共に、外国語科・外国語活動、総合的な学習

の時間において、9ヶ年を見通した単元計画を立て、中学校卒業時の姿を見据えた教育課程を編成している。生徒指導に置いても小中連携委員会を開いている。

4 県の総合計画のキーワード「安心・活力・発展」と関連付けた教育活動の推進

IV スクラップ&ビルドによる業務の精選・重点化

○働き方改革

- ・長時間勤務の廃止
- ・年次制を廃止し、研究内容を国や県が求めるものにシフト
- ・民間教育団体事務局の辞退

○先進的实践に学ぶ取組の重点化（附属山口小のフリートーク、菊池省三先生の褒め言葉のシャワー・成長ノート等）

○連携が進んだ「チーム附属学校」

- ・小中の連携（外国語活動・外国語科で合同研究会 20 回。小学生中学生の相互授業参観）
- ・大分県教育委員会の教育課程大分県研究協議会の教育課題を、教育学部の知見で、学術的裏付けを行いレポート作成。
- ・PTA 役員や保護者に対し学校改革の必要性を会議・学校便り等を通して説明

○県教委施策の具現化

- ・県教委との連携を明確に打ち出した学校の経営方針
- ・県の総合計画のキーワード（安心、活力、発展）と関連付けた校内研修